

12月定例会 質疑

将来を見据えた財政運営と 未来ある町づくりを要望

12月定例会の質疑では、今後における公有地取得の考え方や、振興作物の生産拡大の推進など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部をご紹介します。

振興作物収穫補助金が減額となった理由は

渡邊正俊議員 特産品開発の拠点施設として、農産物加工施設を現在建設中ですが、今後も振興作物の生産量拡大に努め、農業の明るい将来が開ける施策を講じるべきと考えますが、今回の補正で(※)振興作物収穫補助金を減額した理由はなんですか。

今年度から運用が開始された(※)農業者戸別所得保障制度により、国からの補助金が増えた分の差額を減額したためです。

渡辺産業グループリーダ― 振興作物の作付面積は昨年と同じくらい確保していますが、

※振興作物収穫補助金
水田の転作作物として作付けをし、収穫した作物に対し交付する補助金。

※農業者戸別所得保障制度
国、県、市町村が策定した「生産数量目標」に対し、米、麦、大豆などの生産を行った販売農業者（集落営農を含む）に、生産に要する費用（全国平均）と販売価格（全国平均）との差額を交付する制度。



▲麦の収穫に汗を流す生産者

土地購入に関する 今後の方針は

中津伸一議員 今回の補正予算で土地購入費を計上していますが、町には他にも借りている土地がたくさんあり、その賃借料が多くなっています。

土地を購入するには多額の費用がかかるものの、将来的には経費の削減につながるかと

えませんが、今後の土地購入に関する方針について伺います。

黒田総務課長 将来を見据え、今後も恒久的に活用する公有地については、財政的な問題を考慮した上で慎重に検討していきます。



▲土地の購入予定地（下北迫・大谷地原）

契約先の人事異動に 左右されるな

黒田政徳議員 社会福祉協議会への委託事業については、受注者の人事異動により、その内容や金額を変更していますが、この現状をどう思いますか。

根本福祉環境グループリーダ― 契約締結後は、受注者側に人事異動等があってもその内容や契約金額に変更がないのが一般的と思いますが、町としては長年、社会福祉協議会に委託しており、人事異動があった際には委託契約額を変更しているのが現状です。



▲老人クラブと保育所の交流会

来年度に繰り越せないのか

渡辺久長議員 高萩・田中線整備事業については、当初予算で2000円しか計上しておらず、9月に追加補正をし、今回また3000万円を追加するということですが、金額的にも多額で、その工事内容からも来年度の当初予算で要求し、執行すべきではないですか。

入札差金等により高萩・田中線整備事業を実施する予定でしたが、まだ額が確定されていないために、予算の組み替えをお願いするものです。

賀沢建設課長 現在工事中である鍛冶屋前踏切改良工事で発生した

また、下浅見川線整備事業と高萩・田中線整備事業は、今年度の1つのパッケージ事業として国から認可されており、来年度の実施となる制度的にも事務的にも難しいと考えています。

農業委員会の体制を見直せ

門馬 巧議員 本町における情勢や、今後の財政状況を考えれば、農業委員会の体制について見直すべきではないですか。

山田町長 今後は関係機関と協議しながら検討していきたいと考えています。



▲舗装工事が予定されている町道高萩・田中線